

自転車安全に利用して

玉野署や 協助力員 中高生らに呼び掛け



下校する生徒の自転車を点検するサイクルマナーアップ運動の参加者

春の交通安全県民運動（6～15日）に合わせ、玉野署は12日、宇野の検察庁北交差点付近の自転車歩行者専用

道でサイクルマナーアップ運動を実施した。署員、玉野交通安全

話した。

玉野高1年黒川美絵さんは「自分の自転車の状態を知ることができてよかった。安全な運転を心掛けたい」と

員ら計24人が参加。下校中の生徒らを呼び止めて、タイヤの空気圧、ブレーキの利き、ベルの音量を点検。「後輪のブレーキが利きにくいよ」「タイヤにもう少し空気を入れて」などと助言し、通行のルール順守を訴えるちらしと反射板を手渡した。

インのたるみが目立った。いずれも重大事故につながる恐れがあるだけに、玉野署交通課は「定期的に点検してほしい。県民運動を機に、交通マナーについて考えてもらえれば」としている。

（近藤哲也）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。